

お知らせ

学 校 名	岡山県立笠岡商業高等学校
担 当 者	東 義信 (あずま よしのぶ)
電 話 番 号	0 8 6 5 - 6 2 - 5 2 4 5
F A X 番 号	0 8 6 5 - 6 2 - 5 2 4 7

高校生開発！「クラフトコーラ」の新商品発表会のご案内

この度、笠SHOP探究班3年生が、橙を使ったクラフトコーラを商品化し、新商品として販売することになりました。この商品は、該当生徒たちが、2年生の時に考えた商品開発におけるビジネスプランの一つです。実現に向けての道のりは、大変なものでしたが、地域の多くの方の協力を得て、商品が出来上がり、ラベルも完成し、販売に至ることができました。

つきましては、次のとおり新商品についての説明会を開催いたしますので、生徒たちの頑張りも含めて取材していただきたいと存じます。

記

- 1 日 時：令和6年9月10日（火）16：30～
- 2 場 所：笠岡市役所 分庁第4 2階 大会議室
- 3 商 品 名：「北木島DAIDAIGO!GO!」
- 4 考 案 者 名：岡山県立笠岡商業高等学校 笠SHOP探究班3年
定岡 杏奈 (さだおか あんな)・・・代表
矢部 実緒 (やべ みお)・・・副代表
松井 天伽 (まつい てんか)・・・デザイン部長
清水 初花 (しみず ういか)・・・デザイン部
守屋 日南子 (もりや ひなこ)・・・会計部長
安福 真緒 (あぶく まお)・・・会計部
馬場 彩乃 (ばば あやの)・・・クラフト部長
山本 愛珠 (やまもと まなみ)・・・クラフト部
西江 乃愛 (にしえ のあ)・・・クラフト部
- 5 そ の 他：
 - ・当日は、笠岡市やご協力企業の方にも来ていただく予定です
 - ・レシピは、申し訳ございませんが公表いたしません
 - ・商品ラベル・製造工程は、当日公表させていただきます
 - ・商品は、笠岡市のふるさと納税返礼品に予定されています
 - ・別紙に「クラフトコーラ完成に至るまでの道のり」があります
 - ・このお知らせは、同時に笠岡市記者クラブにも連絡しています

クラフトコーラ完成に至るまでの道のり

この道のりは、令和5年3月に北木島に植えられている橙の話の聴いたことが始まりです。橙自体を知らなかった生徒たちですが、橙について調査し、橙は代々続く縁起物で鏡餅や、しめ縄に使われてきていたことが分かりました。

しかし、アンケート調査の結果から高校生も含めて若者は知らない人が多かったのです。「このままでは、日本文化の危機!」と感じた生徒たちは、何とか、この橙を有名にできないだろうかと考えて、クラフトコーラの商品開発をすることになりました。開発に際して、市販のクラフトコーラを飲んでみると高校生の口には合わず、また、自分たちが作ったものも同様に美味しく飲むことができませんでした。

そんな時に迎えた1回目の大会の発表では、賞はいただきましたが、思うような結果にならず、美味しくないと重なり、生徒たちのモチベーションも下がる一方で、中には、「もうやめたい」という生徒まで出てきました。美味しくないと商品を「どうコンテストで発表すればいいのか」ということもあり、「このままでは、どうなるのだろうか」という状況でした。そんな状況でしたが、令和5年9月に北木島のイベントでの販売が予定されていたため、スパイスなどを再調整し、「最後にもう一度だけ作ろう!」と頑張りました。

そこで、『酸味』と『甘み』と『苦み』の絶妙なバランスの『奇跡の一杯』が出来上がりました。あれだけ、飲むのを拒んでいた生徒たちが、「もう1杯飲みたい」というまでの変わりようでした。その北木島のイベントでは、「これは美味しい、ぜひ商品化してみたら」と言われ、生徒たちにとって大きな自信となりました。

それから後の3大会では、自信を持って発表することができました。そして、生徒たちも「ここまで来たら、商品化して販売したい」、「プランだけで終わらせるのではなく、実現に向けて動きたい」という思いから、令和6年4月から商品化に向けて動き、現在に至っています。

将来は、笠岡の特産品として、高知県馬路村の柚子、広島県瀬戸田のレモンのように岡山県笠岡市の橙と親しまれるようにしたいと思います。

